

第 35 号 (2026年度 前期)

養寿寺だより

発行日 令和8年1月1日
編集・発行 真宗大谷派 養寿寺
〒473-0924 豊田市花園町屋敷 56
TEL&FAX (0565)52-4470
E-mail n-makino@hm.aitai.ne.jp
ホームページ 花園町養寿寺で検索

花園町養寿寺

検索

言葉に宿る仏さまの教え

伊藤忠商事という総合商社をご存じですか。三井物産とか三菱商事が財閥系と称される一方で、伊藤忠商事は近江商人系として区別されることがあります。近江とは現在の滋賀県。歴史的に商売の盛んな地域だったのですが、実は近江商人と浄土真宗は深い関係があったようです。伊藤忠商事の創業者、江戸時代末期生まれの伊藤忠兵衛さんは、熱心な真宗門徒。毎日、朝になると従業員を集めて、仏壇の前での『正信偈のお勤め』を大切な日課としていたそうです。やがては、商売の中心、大阪の船場、特にお寺の梵鐘が聞こえ、法話に接することのできる北御堂（お西の津村別院）と南御堂（お東の難波別院）の御堂を結ぶ大通り、つまり御堂筋に店を構えていきました。時代が下った現在でも伊藤忠商事の大きなビルが御堂筋に面して建っています。また、近江商人には、『三方よし…売り手よし、買い手よし、世間よし』という考え方があります。売り手と買い手の『ウィンウィンの関係』が今、なぜかもうてはやされています。しかし近江商人は売り手と買い手だけの利益ではダメだと言うのです。『世間よし』つまり、商売には「世の中のためになる」が重要だとしています。近江商人という一地域出身の方々が、ご商売を長期にわたって維持し発展してきたのは、社会貢献の側面があったのかも



書籍『マンガ初代伊藤忠兵衛』



しれません。そして「他を利する」慈悲のこころは、大乘仏教と浄土真宗が大切にしているものです。『世間よし』というのは、まさにSD

GS（持続可能な開発目標）的な考え方と言っても過言ではありません。「もうかりませんか？」「おかげさんで」という関西でよく聞く言葉のやりとり。この「おかげさんで」というのは、いったい「誰のおかげなのか？」と改めて考えると不思議な言葉です。おそらくそのルーツは、浄土真宗門徒の宗教観である『阿弥陀さんのおかげ』だとされています。今では多くの人が言葉の原点を知って使っているわけではなくとも知れませんが、周囲の支えに感謝するすばらしい言葉ではないでしょうか。

いろいろな場面で使用される言葉に「させていただけます」があります。控えめで、相手を心地よくさせるための便利な言葉です。あまりに使い勝手が良いのか、使いすぎとの批判さえあります。歴史小説家の司馬遼太郎さんは、「させていただけます」は、もともと真宗門徒がよく使っていたもので、だんだん広まっていったと指摘しています。そもそも真宗門徒は、周囲のものや出来事もすべて阿弥陀さまから賜ったものと考えて傾向があります。賜ったものをご縁としてありがたくいただく、利用させていただくというのです。かつて、高齢のご門徒さんに、私が長寿を願っていると伝えると「でも、命は『お与えのもの』ですから」と言われたことがあります。命は自分のものが当たり前現代に、とても新鮮で忘れられません。一方、西欧の言葉に、「天は自ら助くる者を助く」があります。自助の精神です。神様

は、諦めない心を応援し、努力すればどんな困難も乗り越えさせてくれるはずだという教えです。明治以降の日本の急激な発展を支えた思想だと絶賛もされています。しかしながら、「過ぎたるは及ばざるがごとし」です。自助の精神は、状況が好転しないのは『あなた自身の努力不足』に行き着いてしまいがちです。人生には様々な不条理なことが起きます。これを、自己責任などと言われ

たら、救われませんよね。『ごだわり』がいつの間にか「自分の信念を貫く」という良い意味で使われているのも『自助の精神』的西洋思想の影響を受けたからかも知れません。少なくとも昔は『ごだわり』とは、「つまらないことに大切な時間と労力を費やしてしまう」の悪い意味でした。「ごだわりを捨てる」とは仏教の目指す方向にあります。より正確に言い換えれば、「執着を捨てる」ことによって苦しみから解放され生き生きと生きることができるといいます。

現代は過酷な競争社会でもあります。周囲のみんなが全力で走っているように見えてなりません。その副作用として、生きることが、「ただ懸命に走り続けること」になリかねません。もちろん、生き抜いていくためには努力は必要ですが、尊い人生が「勝ち負け」ばかりでは疲れてしまいます。時には「おかげさま」、「利他」、「させていただく」、「お与えのもの」、「ごだわりを捨てる」などの仏さまの教えに触れ、乾いた心に水をやってあげてはいかがでしょうか。



親鸞さまのご生涯

波瀾万丈のご生涯を写真と絵でご紹介致します



日野家菩提寺（宇治市・真言宗）法界寺お堂 国宝



法界寺 阿弥陀如来像
（国宝 法界寺HPより）



法界寺境内
親鸞さま誕生像

ご誕生



平安貴族 藤原氏一族の日野家に
1173年 親鸞さまご誕生



国宝 安城御影 の写し
親鸞聖人（83歳）の御影
岡崎市願照寺（お西）にかつては
所蔵

得度



慈円様のお寺
天台宗 青蓮院
（京都市）



親鸞さま9歳の時
慈円僧正のもとで得度

慈円さま「得度は明日の朝にします」
親鸞さま「今でしょ！
おねがいします。 だって
明日ありと思う心のあだ桜
夜半に嵐のふかぬものかは」
慈円さま「よし わかった」
《夜の暗い中、得度式は行われた》

今も、真宗大谷派は9歳から
得度式をうけることができる

修行

比叡山延暦寺での
修行と学問の生活が
はじまります
（20年間）



29歳の時比叡の
山を降りる
「フリーランスの
お坊さん」宣言



延暦寺根本中堂（国宝）



延暦寺（東塔）

法然上人（ほうねんしょうにん）・親鸞聖人（しんらんしょうにん）・道元禅師（どうげんぜんじ）・日蓮聖人（にちれんしょうにん）といった、日本の仏教界の名だたる僧たちも、「比叡山延暦寺」で僧侶になるための修行や儀式を受けた。

20年間の勉強や厳しい
修行にもかかわらず、悟
りに近づくどころか疑問
は深まるばかり



次号につづく…

本年度 御依頼割当のご報告

本年度 本山からの御依頼額

百十万四千百円

みなさまのおかげをもちまして、早期に、しかも、御依頼額を上回る額（116%）を納めることができました。心より御礼申しあげます。

また、この本山御依頼割当（経常費）につきしては、院号申請・本山納骨申請に対する御懇志を充てさせていただいております。

（一）院号申請された方

村松栄治様 池田たか子様

谷川貴子様 樹神誠様

住田秀夫様 樹神雅人様

加藤義崇様 寺田廣貴様

池田佳正様 日野敏夫様

寺田浩一様 （順不同）

* 院号申請 八万円のご志納。院号の御依頼いただいた順に適宜、本山に納めています。

（二）本山納骨申請された方

寺田浩一様 横井智弘様

（順不同）

* ご本山 東本願寺に納骨をご希望される方は養寿寺にご相談ください。本山納骨は一体十二万円のご志納です。手続き終了後は、何年先でも構いません。納骨を機会にぜひご本山にお参りください。

【養寿寺納骨堂の分骨について】

養寿寺納骨堂では分骨用骨壺もお納めいただくことができます。一体八万円（名札一万円）の冥加金です。よろしければご利用ください。

養寿寺施設や備品の充実についてのご報告

（一）樹木剪定など庭の整備費

八万三千八百円

（二）門前の白い幕など 五万九千五百円
（三）看板制作費（広告料は除く）

五万三千九百円

（四）害獣対策（駆除・消毒・補修）費

十三万九千円

なお、これらはご寄付いただいた永代祠堂金（永代供養）より支払っております。本年度は、**原田富志恵様**よりご志納いただきました。心より感謝申し上げます。



松の消毒



門前の幕



三河八橋駅構内 看板



捕獲されたアライグマ

令和八年（二〇二六）年度 年忌早見表

一周忌	… 令和七年	（二〇二五）ご逝去
三回忌	… 令和六年	（二〇二四）
七回忌	… 令和二年	（二〇二〇）
十三回忌	… 平成二十六年（二〇一四）	〳
十七回忌	… 平成二十二年（二〇一〇）	〳
二十二回忌	… 平成十六年（二〇〇四）	〳
二十七回忌	… 平成十二年（二〇〇〇）	〳
三十三回忌	… 平成六年（一九九四）	〳
五十回忌	… 昭和五十二年（一九七七）	〳

御布施のこと、お二人以上の年忌法要のこと、区切りを付けるための『串上げ法要』ことなど、ご質問そのものが仏教に触れていただくこにもなります。遠慮なくご相談ください。



会場使用の協力金 5千円

令和七年度七月から十二月までの主な行事 ご報告

一・こころの元気塾

七月二十四日（木）・二十五日（金）の両日早朝に『こころの元気塾』を実施しました。一日目の講師は元CBCアナウンサーの多田しげお氏。二日目は福万寺住職の戸松憲仁師でした。六十九名の方に参加いただきました。



正信偈のお勤め



多田しげお先生

二・ラジオ体操とお経のお稽古

花園町こども会の協力を得て八月二十日（二十二日）に実施しました。来年度は、子ども会の再編もあるようにお聞きしましたが、何とか継続していきたいと考えています。



ラジオ体操



お経のお稽古

三・合同初盆会 八月十三日・十四日

昨年から本年度八月下旬の間でお亡くなりになった方のご遺族を対象に合同初盆会を実施しました。二十五家族七十九名の方にお参りいただきました。



合同初盆会 ①



合同初盆会 ②

四・永代祠堂法要 九月二十一日（日）

永代祠堂法要を本年度は日曜日に実施しました。法話の部では市野先生にお話いただきました。昼食は、例年通り、『うお茂キッチン』さんの弁当をお持ち帰りいただきました。



市野智行 先生



法要の様子

五・報恩講

本年度養寿寺報恩講を十月二十五日（土）の午後、二十六日（日）午前の二日間で開催いたしました。一日目も二日目も小雨の降るあいにくのお天気でした。御志納者は百四十一名（昨年比十一名減）。御志納額は、四十六万七千円（昨年比二万五千円減）でした。ご参詣、ならびに御志納ありがとうございました。一日目の法話講師は、養寿寺住職、二日目は和田真雄先生。お斎は、昨年に続き寺でご用意させていただきました。両日ともありがたいことに満堂でした。



馬捨地区地藏盆



小松原地区地藏盆

六・花園町 地藏盆
今年も八月下旬に、花園町の三力所で地藏盆が執り行われました。



お斎スタッフ



和田真雄先生



恒例のビンゴ大会



報恩講 法要



養寿寺住職法話

八・蓮華の会
お寺という非日常空間で心穏やかに書きをする『蓮華の会』の活動を本年度も行いました。参加人数は9名。九月から4回実施しました。また来年も実施する予定です。



書写に取り組むみなさん



花園町戦没者追悼法要



戦没者遺影を前にするご遺族

七・花園町戦没者追悼法要
八月十四日、墓前の追悼法要・十二月十二日、養寿寺での戦没者追悼法要が遺族会主催で行われました。非戦誓いを新たにすることの戦没者追悼法要を今後とも大切に行っていく所存です。



ふれあいクラブ地藏盆後の法話



墓前戦没者追悼法要



お寺の行事を下支え

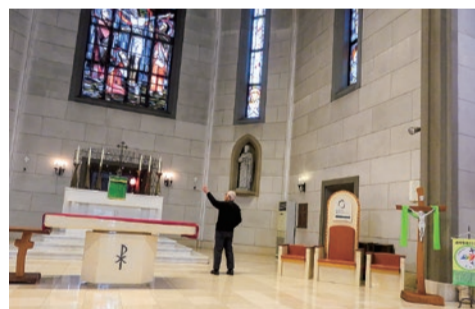


猛暑の中、小泉墓地の草刈り

みなさまのご協力に心より感謝申し上げます
ご寄付いただいた金額 九十三万一千円
(昨年比二千円減)
ご寄付いただいた家 三百二十三軒
(昨年比一軒減)

令和七年 御仏供米ご寄付ご報告
養寿寺世話方会活動基金

十・世話方会研修 十一月十九日 実施
場所は、名古屋市にあるカトリック布池教会。宗教理解の一助とするためにキリスト教布池教会訪問を実施しました。大聖堂の荘厳な建物と屋内のステンドグラスに感動。神父様よりキリスト教について少しお話いただきました。



大聖堂内、神父様による説明

九・本山団体参拝 十一月二十一日 実施
高岡組門徒会主催の本山団体参拝を実施しました。養寿寺からは四名が参加しました。今年は、音楽法要にお参りし、午後は、滋賀県石山寺を訪問しました。



養寿寺参加者のみなさん

【西暦 2026年 6月までの主な予定 ご案内】

- | | | | | | | |
|-----------|----------|-------------|---------|-----------|----------|-----------|
| 12月31日(水) | 除夜の鐘 | 11時00分頃から | 1月1日(木) | 修正会 | 午前0時から | 正信偈を読みます。 |
| 1月4日(日) | 養寿寺主催 | 書き初め会 | 午前中 | | | |
| 3月14日(土) | 蓮如忌第1日 | 午後 | 法要と法話 | | | |
| | 講師 | 未定 | 予定 | | | |
| | 養寿寺世話方企画 | ビンゴ大会 | | | | |
| 15日(日) | 蓮如忌第2日 | 午前 | 法要と落語 | お斎(とき)は | 弁当に致します。 | |
| | | | 落語 | 笑福亭に智師匠 | を予定 | |
| 4月8日(水) | 養寿寺花まつり | 午前10時 | 町内回覧板で | ご連絡いたします。 | | |
| | 甘茶や抹茶を | 楽しんでいただけます。 | | | | |